

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(岡山県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象・作物・畜種等名)	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象・作物・畜種等名)	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (26年度)	1年後 (27年度)	2年後 (28年度)	3年後 (29年度)	目標値 (29年度)	達成率				計画時 (26年度)	1年後 (27年度)	2年後 (28年度)	3年後 (29年度)	目標値 (29年度)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
奈義町	勝英農業協同組合	野菜 (枝豆)	対象品目の秀品比率を15.1ポイント増加	72.1% (秀品36.1t /出荷量 50.1t)	—	47.7% (秀品8.4t/ 出荷量 17.6t)	72.0% (秀品14.9t/ 出荷量 20.7t)	87.2% (秀品52.3t /出荷量 60.0t)	-0.7%	対象品目の秀品比率が0.1ポイント減少	野菜 (枝豆)	当該品目の単位面積当たり労働時間を41.5%縮減	188時間 /10a	—	162時間 /10a	151時間 /10a	110時間 /10a	47.4%	当該品目の単位面積当たり労働時間を19.7%短縮	集出荷貯蔵施設 枝豆光選別ライン 一式 60t/年	60,480,000	19,841,000	0	0	40,639,000	H28.2.26	<p>秀品比率については、茶しみ症対策の防虫ネット被覆栽培等に取り組んだが、9、10月の台風18、21号の被害等により未達となった。また、台風被害により出荷を諦める農家も多く、出荷量も少なかった。</p> <p>労働時間については、選別調製作業の共同機械化により、10a当たり労働時間の減少を目指していたが、台風被害や茶しみ症により品質が不良なものが増え、選果作業が長時間化して農協職員の出荷前選果(手選別)が農家段階で必要となり、時間を要したため、未達となった。</p> <p>今後は、関係機関と密接に連携し、防虫ネット被覆栽培の普及拡大により安定生産と品質向上を図る。また、農家段階で行っていた事前選果(手作業)についても共同化(JAで荒選別機を導入)し、農家段階での労働時間の短縮を図り、選果場での作業の効率化を徹底する。これらにより目標達成を目指す。</p>	<p>共同選果場の整備に伴い、これまで農家が行っていた選別調整作業の共同化による労働時間の短縮を、規模拡大につなげるとともに、栽培管理の徹底を図り、高品質化を目指していた。</p> <p>秀品比率については、ネット栽培での防除により茶しみ症の発生は抑制できたものの、9、10月の台風被害等により、伸び悩んだ。</p> <p>また、台風被害で出荷自体を諦める農家も多かったことから、出荷量も減少し、目標が未達となった。</p> <p>高品質化に向けて、防虫ネット被覆栽培を進めているところだが、普及率は8.2%といった状況であることから、更なる推進を図るとともに、天候不順等にも対応できる栽培・防除指導を徹底し、秀品比率及び出荷量の向上を目指す。</p> <p>労働時間は、選別機の導入により、選果場での選別調製時間は縮減できたものの、天候不良のため機械収穫の農家の事前選別に作業に多くの時間を要した。今後は、栽培管理の徹底により品質向上に努めるとともに、荒選別機を導入し、農家段階の労働時間の短縮に努めることで、目標達成を目指す。</p>	
都道府県平均達成率	23%	総合所見	選果場の導入により黒大豆枝豆の秀品比率の向上及び労働時間の削減を目指したが、目標は達成できなかった。今後は目標達成に向け、一連の作業の見直し並びに関係機関と連携した指導を行う。																										